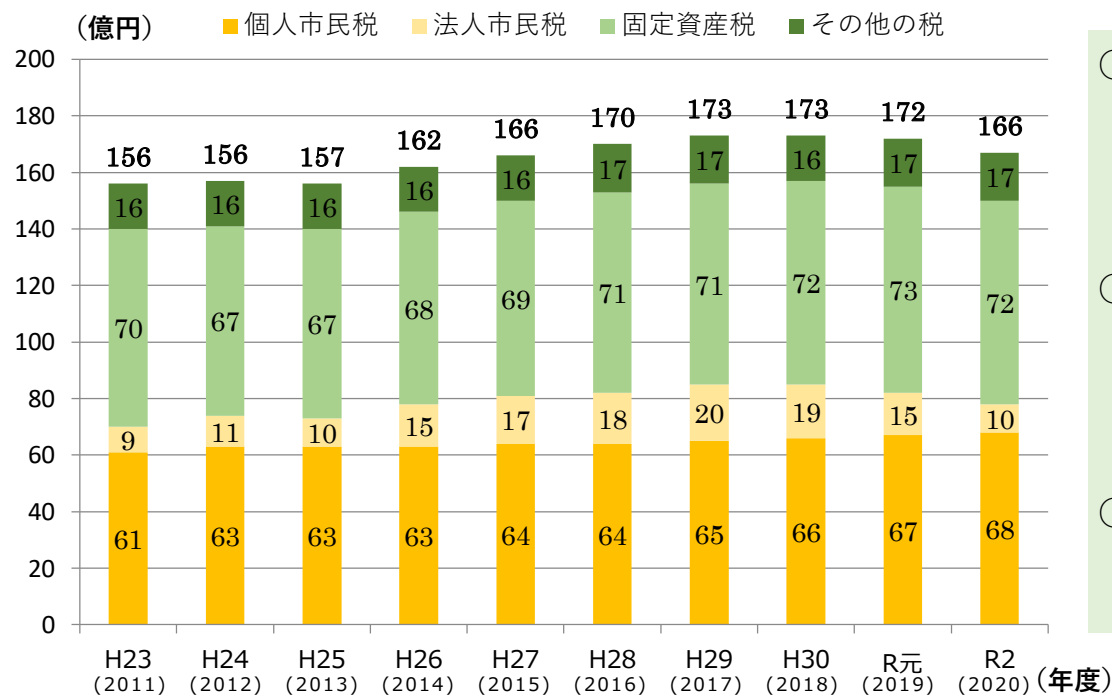


5. 財政状況 (1/2)

本市の歳入の根幹となる市税収入と歳出総額(一般会計)のこれまでの推移を示す。

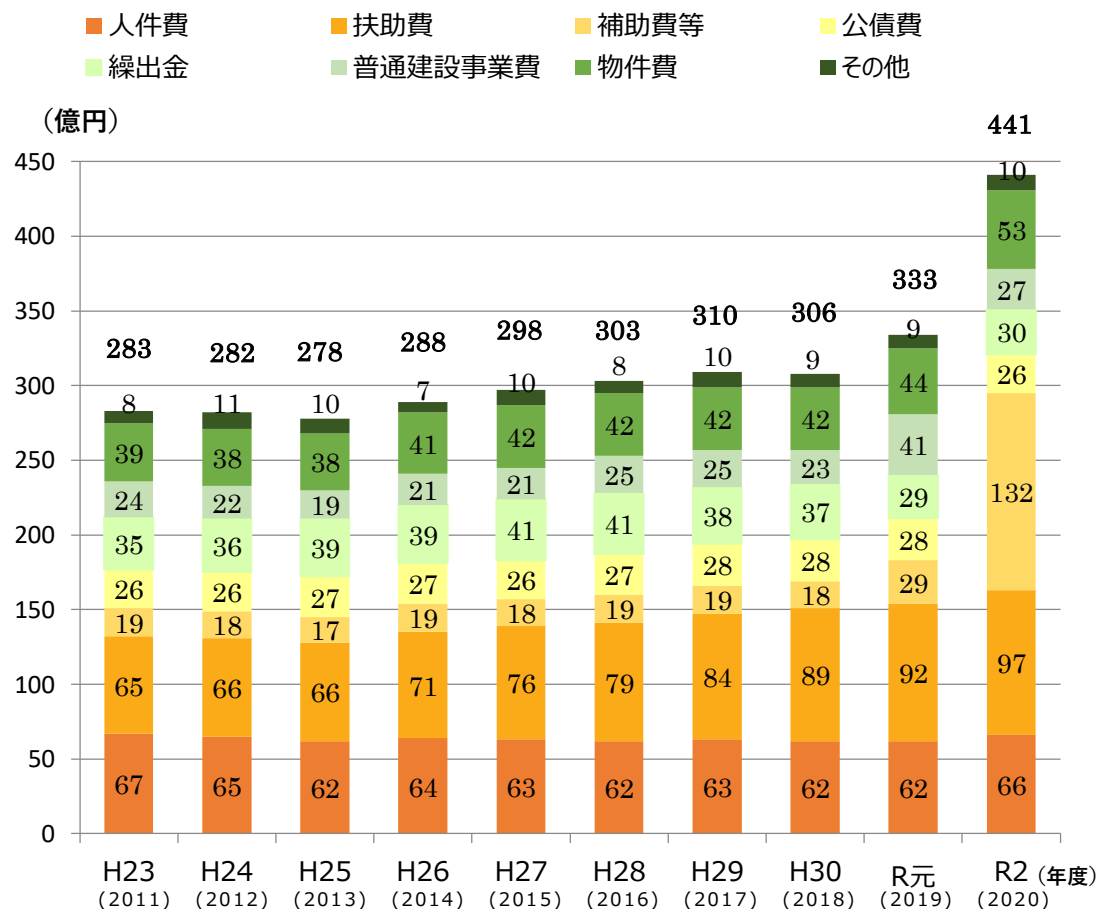
(1) 市税収入の推移



- 市税収入は増加傾向で推移していたが、景気の減速や新型コロナウイルス感染症拡大が影響し、法人市民税が減少に転じたため、R元(2019)年度から減少。
- リーマンショック(H20(2008)年)で落ち込んだ個人市民税は、回復傾向にあるものの、今後の生産年齢人口の減少等により、大幅な増加は期待できない状況。
- 新型コロナウイルス感染症の完全収束が見通せない中、この先も不透明な市税収入の状況が続くと予想。

5. 財政状況 (2/2)

(2) 一般会計 歳出総額の推移



- 一般会計歳出総額は、R元(2019)年度まで横ばいから微増で推移。
- 少子高齢化の進行により、今後も扶助費をはじめとする社会保障関係費の増加が続くと懸念。
- R2(2020)年度は国の交付金等を活用した新型コロナウイルス感染症対策の実施により、補助費等がR元年度の約29億円から約132億円に増加したため、歳出総額が前年から大幅に増加。